

東京湾海況情報 24-1

東京湾水質調査結果（平成24年4月）

（平成24年4月20日発行）

千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 〒293-0042 富津市小久保3091
 TEL 0439-65-3071
 E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp
 千葉県農林水産技術会議

資料 千葉県水産総合研究センター 内湾（4/10）、内房（4/10）
 神奈川県水産技術センター（4/6）、千葉県環境研究センター（4/6）、
 （独）国立環境研究所（4/7）、東京都環境局（4/10）
 モニタリングポスト（4/10：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁）
 関東・東海海況速報（4/10）、東京湾口海況図（4/10）

東京湾海況情報は、毎月1回行っている水質調査の結果をとりまとめ、ホームページで公開しています。どうぞ御利用願います。

【 水温・塩分の状況 】

湾内の表層水温(図1)はほぼ13~14℃台で、平年より約1~2℃低くなっています。塩分はほぼ31~34台前半で、内湾では平年より1程度高くなっています。内湾縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図3)をみると、水温は表層から底層までほぼ均一に分布し、塩分はアカガイ付近の15m以深に33.5以上の水塊がみられています。

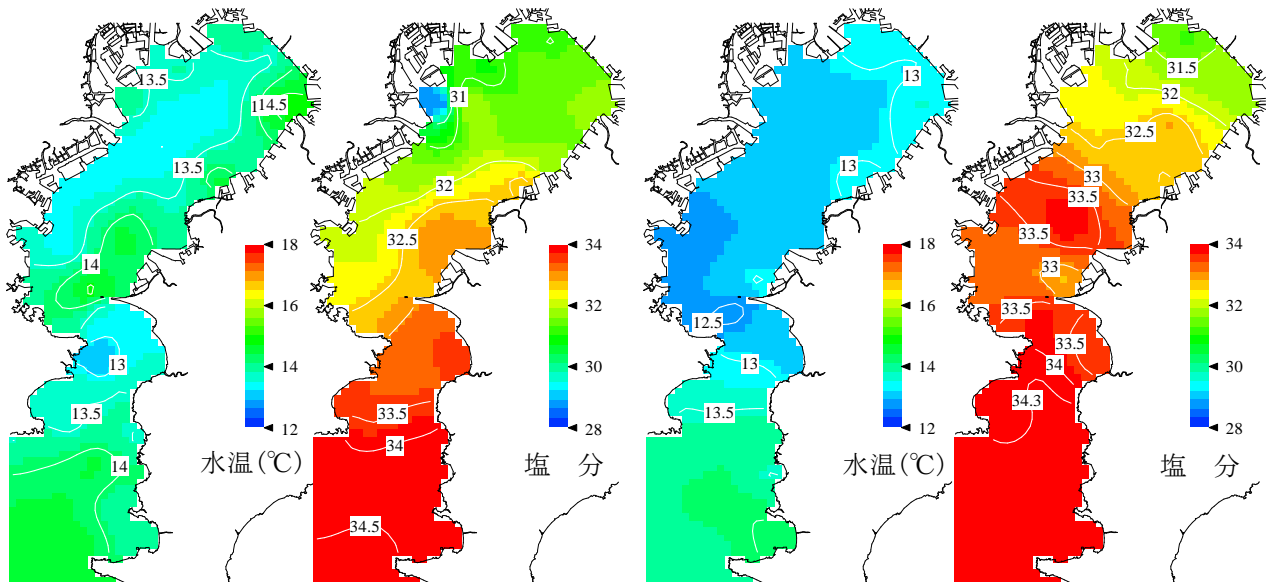


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

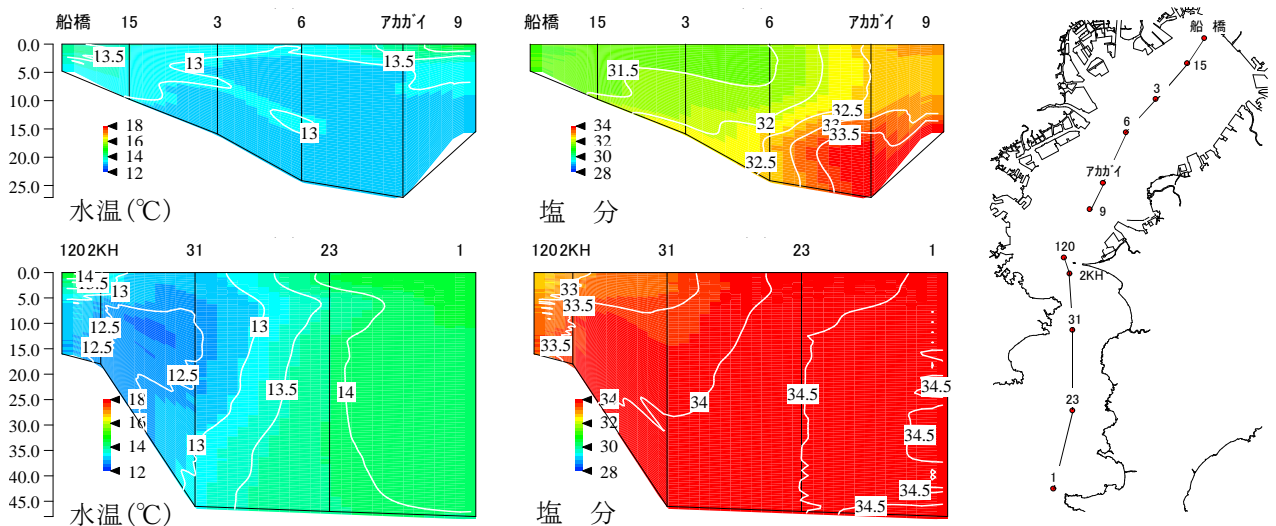


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(上：内湾、下：内房海域、右：調査ライン)

【 赤潮の状況 】

赤潮は湾奥部の浦安から船橋にかけての沿岸で発生し、pHは8.5~8.6、透明度2m台で、水色もやや褐色を呈している状態です。

優占種はケイ藻のスケルトネマ(*Skeletonema* sp.)、ユーカンピア(*Eucampia zodiacus*)で、レプトキリンドルス(*Leptocylindrus danicus*)も多くみられています。

また、保田から富浦にかけての周辺海域でもスケルトネマ、ユーカンピアが多くみられています。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ~褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 μ g/L以上

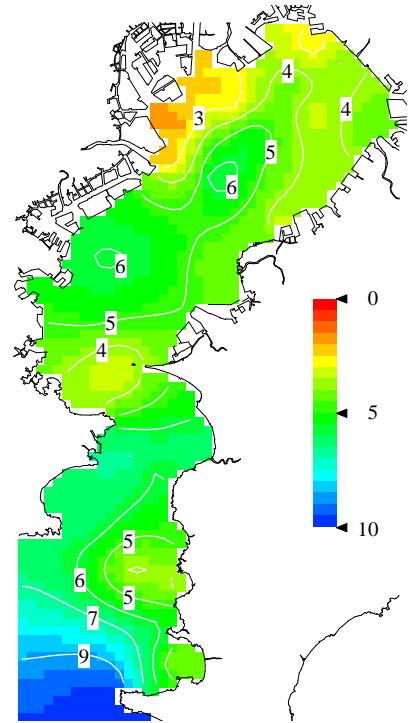


図4 透明度の分布(m)

【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は最も低い京葉シーバス付近で4ml/L以上あり、貧酸素水塊は発生していません。

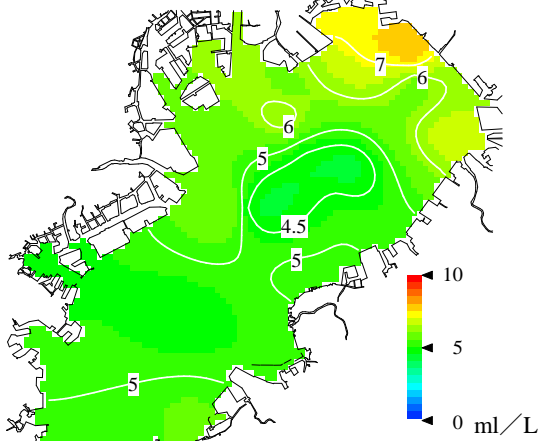


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

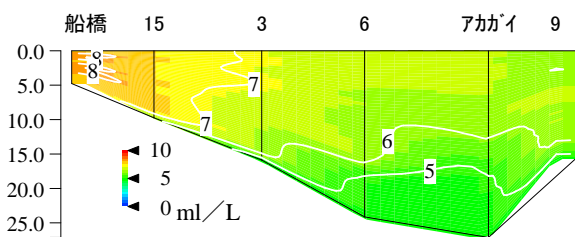


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています。

【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩濃度(図7)は溶存無機態窒素(DIN)・リン酸態リン(PO₄-P)ともほぼ全域で平年より少なく、リン酸態リンは非常に少なくなっています。さらに、保田~富浦にかけての周辺海域では溶存無機態窒素も極端に少なくなっています。

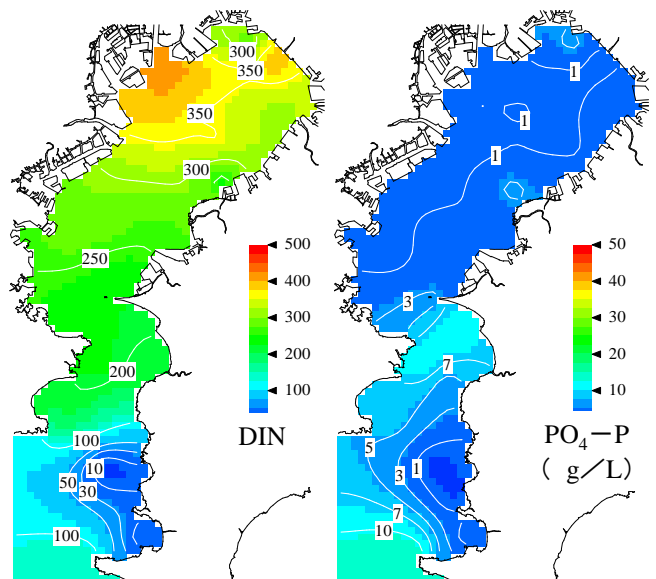


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

【黒潮の状況】

黒潮はほぼC型基調で推移し、その流軸は10日現在八丈島付近から南東方向に大きく迂回した後、S字状に北上しながら房総半島南東岸を北東方向に流れています(図8)。

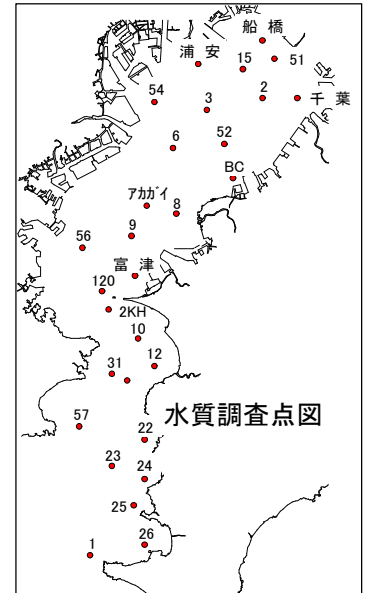
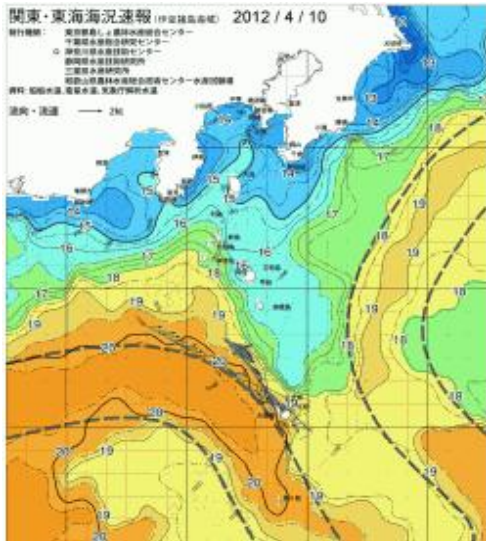


図8 黒潮の動き (平成24年 4月10日)

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2001~2010年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (g/L)	溶存無機態窒素 (g/L)	リン酸態リン (g/L)	クロロフィルa (g/L)
船橋	13.9 (14.7)	30.98 (30.19)	2.7 (2.1)	8.5 (8.6)	7.6 (6.3)	12 (62)	278 (403)	3 (19)	29.5
st. 15	13.3 (14.4)	31.37 (30.36)	4.4 (2.4)	8.4 (8.6)	6.3 (4.5)	14 (39)	357 (359)	1 (9)	12.6
st. 3	13.1 (14.3)	31.34 (30.14)	5.5 (2.6)	8.4 (8.6)	4.7 (4.1)	19 (28)	349 (391)	1 (5)	9.9
st. 6	13.0 (14.0)	31.46 (30.03)	6.0 (2.9)	8.3 (8.5)	4.6 (4.0)	28 (44)	343 (453)	1 (8)	5.1
st. 9	14.3 (14.0)	32.84 (31.27)	5.5 (3.7)	8.3 (8.4)	4.7 (4.8)	28 (26)	260 (285)	3 (4)	2.7
st. BC (盤洲Cブイ)	14.3 (14.6)	32.63 (31.43)	3.6 (3.2)	8.3 (8.4)	5.1 (4.8)	16 (35)	231 (291)	2 (8)	5.4
st. 8 (盤洲A南)	13.6 (14.1)	32.71 (31.76)	4.5 (3.6)	8.3 (8.4)	4.8 (4.5)	24 (37)	264 (262)	2 (10)	4.8
富津	14.1 (14.1)	32.75 (31.84)	4.6 (3.7)	8.2 (8.3)	5.3 (5.0)	18 (35)	221 (250)	2 (7)	4.5
st. 2KH (第2海ほ下)	13.5 (14.0)	32.85 (32.90)	3.5 (5.5)	8.3 (8.3)		20 (26)	215 (196)	5 (7)	3.3
st. 31	12.8 (13.9)	33.30 (33.01)	7.0 (5.4)	8.3 (8.3)		7 (18)	215 (194)	8 (5)	3.3
st. 23	14.2 (15.8)	34.31 (34.21)	4.0 (11.8)	8.2 (8.2)		2 (15)	5 (56)	ND (6)	4.4
st. 1	14.3 (15.9)	34.52 (34.44)	9.5 (13.5)	8.2 (8.1)		9 (12)	104 (64)	11 (8)	2.4
st. 10 (下洲沖)	13.1 (14.3)	33.35 (33.25)	5.5 (6.2)	8.3 (8.3)		11 (22)	206 (156)	9 (6)	4.3
st. 12 (湊沖)	13.3 (14.5)	33.40 (33.42)	6.5 (5.7)	8.3 (8.3)		6 (17)	190 (102)	7 (4)	
st. 22 (保田沖)	13.5 (15.7)	34.11 (34.29)	5.0 (10.1)	8.3 (8.2)		2 (16)	57 (60)	1 (5)	5.1
st. 24 (富山沖)	13.9 (15.9)	34.16 (34.39)	4.0 (12.5)	8.2 (8.2)		1 (17)	2 (55)	ND (7)	2.7
st. 26 (館山湾内)	13.7 (16.1)	34.30 (34.46)	4.5 (12.7)	8.2 (8.2)		3 (16)	4 (56)	1 (7)	

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。